

【授業科目】 倫理学（人権を含む） Ethics

| 担当教員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | 実務経験 | オフィスアワー | 教職員への授業公開 |
|--|--|------|-----|------|-----------------------------|------|---------|------------------|
| 鈴木 孝典 | 1年次前期 | 選択 | 1 | 15 | 講義 | | | 可 |
| 授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法 | <p>授業概要／倫理的思考法の基礎を講義形式により解説した上で、現代社会が抱えるいくつかの課題を取り上げ、それらに対する各自の意見を出し合い、話し合いをする。それを通して、意見が異なる他者との合意形成を図る技術を身につけるとともに、責任ある選択をとれる自立した個人の確立を目指す。</p> <p>進め方／オンデマンド形式で行う。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、総評を記したプリントを配布する。</p> | | | | | | | |
| 授業の 位置づけ | <p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。</p> | | | | | | | |
| 到達目標 (履修者が 到達すべき 目標) | <p>①現代の日本社会が抱える倫理問題を理解し、自らが取るべき行動を模索することができる。</p> <p>②直観や思い込みによらず、筋道立てた思考にもとづいてより良い選択を取ることができる。</p> <p>③生命倫理が必要とされる歴史的社会的背景を踏まえ、看護者が遵守すべき倫理にもとづいて思考し、行動することができる。</p> | | | | | | | |
| 時間外学習 に必要な 内容・時間 | <p>第1～4回事後学習：配布した資料を復習する。(各30分)</p> <p>第5回事前学習：人口減少が進む日本において個々人に求められていることを考える。(60分)</p> <p>第6～7回事後学習：配布した資料を復習する。(各30分)</p> <p>第8回事前学習：看護者としてどのような行動をとっていきたいか抱負をまとめる。(各30分)</p> <p>日本看護協会のWebサイトに、看護職に求められる倫理「看護職の倫理綱領」が示されている(https://www.nurse.or.jp/nursing/rinri/rinri_yoko/index.html)。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p> | | | | | | | |
| 授業計画 | <p>第1回 イントロダクション—倫理とは何か</p> <p>第2回 一般倫理課題①—普遍的善と文化</p> <p>第3回 現代日本社会が抱える問題—少子高齢化・人口減少</p> <p>第4回 人権と社会保障制度</p> <p>第5回 一般倫理課題②—よりよい社会づくりのための選択</p> <p>第6回 生命倫理と看護・臨床検査①</p> <p>第7回 生命倫理と看護・臨床検査②</p> <p>第8回 総復習・看護や臨床検査に携わる者の心構え</p> | | | | | | | <p>全て 鈴木</p> |
| 評価方法 評価基準 | <p>定期試験 60%、提出物 40%</p> | | | | | | | |
| 教科書 | なし。担当教員が作成した資料を配布する。 | | | 参考書等 | なし。参考にすべき HP 等を講義の中で適宜紹介する。 | | | |
| 学生への 助言等 | <p>授業はすべてオンデマンドにて実施する。提出物は配信開始日から2週間を超えたものは受付けないため、注意すること。</p> | | | | | | | |